

■平成 23 年 10 大ニュース

つらく悲しい東日本大震災

22 年度新設住宅着工戸数前年比 5.6%増

今年も残すところ 1 月となった。10 大ニュースの中で最も大きなニュースは東日本大震災といえる。それ以外では廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正、22 年度新設住宅着工戸数は前年比 5・6 % 増となった。さらに日本壁装協会まとめの 22 年度壁紙出荷量も前年度 4・0 % 増となり若干持ち直した。

1. 東日本大震災

今年最もつらく悲しいニュース。激甚な災害により、家族、友人、家、仕事がなきものとなった被災者の方々の悲しみは語り知れない。そんな中、内装業界では全国表具経師内装組合連合会、日本テントシート工業組合連合会、日本建設インテリア事業協同組合連合会、日本室内装飾事業協同組合連合会、日本内装材連合会、日本内装仕上技能士会連合会、壁装施工団体協議会、日本壁装協会が 3 月 23 日時点で、義援金あるいは見舞金を送ることを決定した。また、ブランドメーカーでは生産・出荷設備の被害を受けた企業、主要仕入先が製品生産と出荷業務に支障をきたした企業、紙・床材等塩ビ製品の主原料である塩ビ樹脂、可塑剤といった石油精製品の供給にも影響した。さらに、節電の影響もあり、企業活動が制限された。そういった状況下、サンゲツ、東リ、リリカラ、立川ブラインド工業、トソー等が義援金並びに支援物資を寄贈した。(4 月、5 月)

2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正の概要

改正法(改正廃棄物処理法・4 月 1 日施行)では、建設工事で生ずる廃棄物の処理は元請業者を事業者と適正に処理する、または適正に委託しなければならないこととした。これにより、下請人は廃棄物処理業の許可及び元請からの処理委託がなければ運搬、処分はできないこととなった。なお、下請人が行なう廃棄物の運搬に係る例外は条件が厳しく限定されている。(1 月、6 月)

3. 内装材の替えどき

資材供給側に聞くアンケート結果。お薦めの時期は襖紙 3～7 年、壁紙 5～8 年、窓装飾 5～10 年となった。(2 月)

4. 22 年度壁紙需要先

ブランドメーカー、二次卸店に平成 22 年度の壁紙需要先アンケートを実施した。その平均値は「住宅」68・8 %、「非住宅」31・2 %。「新築」62・2 %、「リフォーム」37・8 %という結果になった。(5 月)

5. 22 年度新設住宅着工

国交省発表の平成 22 年度新設住宅着工戸数は前年比 5・6 % 増の 81・9 万戸となった。利用関係別の増加率は持家 7・5 % 増、貸家 6・3 % 減、分譲住宅は 29・6 % 増。そのうちマンションは 45・1 % 増となった。(6 月)

6. 22 年度壁紙出荷量

日本壁装協会まとめの平成 22 年度壁紙出荷量は前年比 4・0 % 増の 6 1 4, 4 9 5, 6 5 5 m²となった。(7 月、8 月)

7. 力を入れた壁紙

お薦めの壁紙

「力を入れた壁紙」を二次店にアンケート形式で聞いた。その結果、1 位は「ビニル化粧シート(タック式)」、2 位「機能性壁紙 2 (消臭、吸放湿、通気性、マイナスイオン、抗アレルギー、光触媒、耐水性)」、3 位は「ビニル壁紙・中級・高級品」。また、ブランドメーカー 7 社のお薦めの壁紙は新素材壁

紙、ペット対応、消臭、低VOC、高意匠性壁紙、不織布壁紙、自然素材壁紙、木目化粧材壁紙等。(7月、9月)

8. 住宅エコポイント再開

平成23年度第3次補正予算が閣議決定され住宅エコポイント制度の再開が位置づけられた。再開後の住宅エコポイントは東日本大震災の被災地の復興支援に重点をおくものとなっている。(11月)

9. 平成22年度防火 壁装施工管理実績

壁装施工団体協議会のまとめによると、ラベル支給数は2,483,448枚前年比16・4%減、施工実績は54,522,714㎡、施工管理者数20,260人で13・2%減となった。(11月)

10. インテリアファブリ ックス市場規模

ウィンドートリートメント1、903億円(前年度比0・3%増)、フロアカバリング2、384億円(同3・4%増)、ウォールカバリング982億円(同2・5%増)と策定。総計では5、269億円(同2.1%増)に。(詳細4面)

注意)本書を無断で転載することを禁じます。